

令和2年度実施

# 相模原市立学校教員募集

Schoolteacher Recruitment in Sagami-hara City Public Schools

# 教員採用試験、始動

受験申込期限

令和2年

5/27 水

第1次試験

令和2年

7/12 日

相模原市教育委員会



# 相模原市が目指す教育

Education aimed at by Sagamihara City



教育長  
鈴木 英之

Message

「教員になりたい！」そんな思いをもち、相模原市の教員採用パンフレットを手にとっていただいた皆さん、初めまして、相模原市教育委員会教育長の鈴木です。

教員を取り巻く環境が厳しいと言われている中、教員を目指そうとする皆さんは教育に対する並々ならぬ決意・情熱をお持ちのことと思います。是非ともその決意・情熱を相模原の子どものために、注いでほしいと思います。

本市は、「自然と都会がつながり合うまち・緑区」、「未来と活力があふれるまち・中央区」、「人が行き交うにぎわいのまち・南区」と多様な特色を持った3区からなる人口約72万人からなる都市です。自然、活力、にぎわいがあふれる本市の恵まれた教育環境のもと、無限の可能性を秘めた児童・生徒が学校生活を送っています。

また、これまで本市では「人が財産(たから)」を基本的な考え方として、教育施策を展開してまいりました。この考え方は普遍的なものでありますが、超スマート社会、人生100年時代を迎える中、より具体的なビジョンの下で教育を推進していく必要があると考え、新たに「共に認め合い現在(いま)と未来を創る人」を育てて

いくことを相模原市の教育が目指す人間像と致しました。

私は学校によく足を運ぶのですが、その際、職員室の様子をうかがうと、先生方が温かい雰囲気子どもたちの教育について話し合っている姿がどの学校でも見られます。児童・生徒の成長を日々支えている教員が、お互いに学び合う風土、自分が実践したい教育を行える環境があることが本市の特色でもあります。きっと皆さんもこのような雰囲気の中で先輩・同僚の教員と共に学び合い、笑い合い、成長していくことができるでしょう。

我々教育委員会は、学校現場で働く先生方が、教育活動に全力投球できるよう、学校閉庁日の設定、留守番電話の導入、学校を支えるスタッフの配置など、環境整備を進め、学校の働き方改革を推進しているところです。

既存の教師の枠に捉われない、自分らしさ溢れる「オンリーワンな教師」を相模原市で目指しませんか。

来春より皆さんと、共にさがみはら教育を推進できることを心より願ってます。

## 相模原市の教育が目指す人間像

# 共に認め合い

い ま

# 現在と未来を創る人

相模原市の教育が目指す人間像の実現に向けて、次の3つを基本姿勢として教育施策を展開していきます。

### 基本姿勢 1

- 温かさと先進性のある教育の推進

### 基本姿勢 2

- 「縦の接続」と「横の連携」

### 基本姿勢 3

- 教育資源の効果的な活用





## 相模原市の求める教師像



人間性

### 人間性 豊かな教師

子どもと共に感動を  
分かち合い、情熱を持って  
夢を語る教師



信頼性

### 信頼 される教師

子どもの願いや悩みに  
真剣に向き合い、  
家庭・地域・仲間と共に、  
その実現・解決に努める教師



### 指導力向上に 努める教師

向上心

子ども一人ひとりが  
「もっと学びたい」「もっと知りたい」と  
感じる授業を目指し、  
その実現のため自己研鑽に  
努める教師





# 相模原市の教育の特色

Characteristic of the education of Sagami-hara city

## あたたかさのある教育

一人ひとりの個性を認めて大切にするとともに、  
障害の有無や生育環境などにかかわらず誰もが十分に学ぶことができるよう、  
誰一人取り残されない温かさのある教育をめざします。

小学校4年生、5年生  
を対象に『学習調査』を  
実施し、調査結果を分  
析して、一人ひとりの  
学習支援やより良い授  
業づくりに生かします。

## 一人ひとりの学びを支える

これからの社会を生き抜く子どもたちには、  
「生きる力(=未来を切り拓く力)」を育むことが必要です。なかでも基礎的・基本的な学力を身に付け学ぶ意欲を  
高めていくために分かりやすい授業づくりとともに、次のことに取り組んでいます。

### 生活改善 出前講座の実施

規則正しい生活習慣は社会  
を生き抜く力の原動力です。  
教育委員会の指導主事が学校  
に出向き、『望ましい生活習慣』  
について授業を行います。



### 授業における支援 【小学校24校】

『学習支援員』を配置し、  
個別支援やチーム・  
ティーチングを通して、児  
童の基礎的・基本的な学力  
の習得や定着を図ります。

### 放課後学習 における支援

【小学校20校・中学校30校】

小学校は民間事業者を活用し、中学校は退職教員等が支  
援する放課後学習を実施しま  
す。基礎基本の習得と学習意  
欲の向上を図ります。(定員有)



## 一人ひとりの特性に応じた支援

児童生徒一人ひとりの持てる力を高め、  
生活や学習上の困難を克服するために、  
一人ひとりの教育的ニーズを把握し適切な支援を  
行うために次のことに取り組んでいます。

### 支援教育支援員 の配置

全小中学校・義務教育学校  
に支援教育支援員を配置し、  
支援教育コーディネーターや  
学級担任との協力のもと、教  
育的支援が必要な児童生徒に  
関する学習支援等を行います。

### 通級指導教室

市内には区ごとに通級指導  
教室があり、学習や生活上困  
難を感じている児童生徒に対  
し通常の学級に在籍しながら、  
障害の状態に応じた特別な指  
導を受けることができる様々  
な学びの場を設置しています。

### 学校における 看護師の配置

医療的ケア児の学びの保  
障・自立の促進・保護者の負  
担軽減を目的として、看護師  
を配置し、医療的ケアを実施  
しています。

\*「サポートルーム」(市で定めた名称)  
通級指導教室の内、情緒に課題がある児童  
生徒が支援を受ける通級指導教室

\*「きこえとことばの教室」(市で定めた名称)  
通級指導教室の内、言語や聞こえに課題が  
ある児童が支援を受ける通級指導教室



## 先進性のある教育

AIやグローバル化の加速度的進展といった  
将来の見通しが困難な時代の中で、未来社会を見据え、既成概念や前例にとらわれずに  
進取の精神で臨む先進性のある教育を推進します。

### 未来を切り拓く力を育てる キャリア教育

～小中一貫でキャリア教育を推進します～

相模原市では、小学校と中学校の良さを生かしながら9年間の学びの連続性を大切にする「縦の接続」と、地域社会や家庭・保護者・企業や大学などの教育力を学校に取り入れる「横の連携」を重視し、一人ひとりの子どもたちの「夢や希望を持って未来を切り拓く力を備え、社会的・職業的自立を果たし、社会で自己実現する姿」をめざした教育活動＝キャリア教育を展開しています。筑波大学の藤田晃之教授や、青山学院大学 原晋 陸上競技部監督にもご助言をいただきながら充実をめざしていきます。



### 小・中グローバルに活躍する 人材の育成

～小・中7年間を通した外国語教育～

言語・文化や価値の多様性を受け止め、英語を用いてコミュニケーションを図ることができる児童生徒の育成を目指しています。具体的には、次のような取組を進めています。

**特色 1** 外国人と実際のコミュニケーションを図る機会を充実させています！

\* 全小中学校・義務教育学校にALT(外国人英語指導助手)配置

**特色 2** 小学校の先生の英語指導力の向上を目指しています！

- \* さがみはら英語授業スタンダードによる授業展開
- \* 英語教育アドバイザーによる小学校学級担任等への支援
- \* 英語専科教員の配置



### プログラミング教育

～次世代の資質・能力を育成する  
プログラミング教育に力を入れています！～

これからの社会で活躍する子どもを育成するため、プログラミング教育が本年度必修化されました。相模原市は全国に先駆け、平成29年度より全小中学校での授業実践を行っています。プログラミングの体験を通じて、楽しく、真剣に、試行錯誤しながら学ぶ子どもの姿が、どの学級でも見られます。全ての先生たちが安心して授業に取り組めるよう、教材や研修、ICT支援員のサポートも充実しており、皆さんが思い描く次世代型の教育に取り組むことができます。



### 豊かな心を育てる体験活動

～体験活動で子どもが変わる～

市内にある教育施設「相模川ビレッジ若あゆ」や「ふじの体験の森やませみ」を利用し、相模原の四季がおりなす豊かな自然の中で、子どもたちと教員が寝食を共にし、ふれあいを深めながら様々な体験活動に挑戦しています。体験活動を通して、児童生徒の創造性及び主体性を培い、豊かな心を育む教育を推進しています。

**主な取組** 体験プログラムの充実

子どもたちそれぞれが「主役」となり、体験活動を通して、新たな発見をし、自ら進んで学ぶことの楽しさを感じながら、自主性や創造性を育めるように、充実した体験活動プログラムを用意しています。





# 学び続ける教師を支援

Support for Teachers Continuing to Learn

## 研修体系

	ライフステージ研修	その他の研修
基礎期	非常勤講師研修講座 常勤代替教諭研修講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>希望する場合は、教育センター教育指導員が授業を参観し、研究協議を通して学ぶことができます。</li> <li>年に6回研修があります。授業づくりや児童生徒の理解について学ぶことができます。</li> </ul>
形成期	初任者・新採用研修講座 2年次研修講座 3年次研修講座	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 30%;">  </div> <div style="width: 30%;"> <p><b>学校への訪問支援研修</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 校内研修支援研修</li> <li>* 情報教育訪問サポート研修</li> <li>* 学校の要請に応じた指導主事等の訪問支援研修</li> <li>* CST<sup>※</sup>の訪問支援研修</li> <li>* JAXA職員の訪問支援研修</li> <li>* 東京工業高等専門学校職員の訪問支援研修</li> </ul> </div> <div style="width: 30%;"> <p><b>特別研修</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 県外委託研修</li> <li>* 情報教育特別研修</li> <li>* 長期派遣研修</li> <li>* 特別支援教育大学派遣研修</li> <li>* 英語教育推進リーダー中央研修</li> <li>* 独立行政法人教職員支援機構主催研修</li> </ul> </div> </div>
向上期	向上期研修	
発展期	中堅教諭等向上研修講座 15年次研修講座 学校運営推進者研修講座	
円熟期	新任副校長研修講座 副校長研修講座 新任校長研修講座 校長研修講座	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 30%;"> <p><b>専門研修</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 授業力向上研修</li> <li>* 支援教育研修</li> <li>* 情報教育研修</li> <li>* 教育課題研修</li> <li>* 担当者研修</li> </ul> </div> <div style="width: 30%;">  </div> </div>

※理数系教員  
(コア・サイエンス・ティーチャー)

他に…

市内小・中学校の先生方が研究員となり、テーマを設定して2年間研究する「教育研究員研究」もを行っています。

### 相模原市教育研究発表会

「ともに見つけ、ともに創る子どもの未来」をテーマに、学校教育や社会教育など子どもに関わる様々な立場の人による実践発表を通して意見交換を行い、学びを深めます。





# ライフステージ研修

初任の教員を対象とした初任者研修では、気付きや謙虚に学ぶ姿勢から始まり、実践的な授業力や指導力、教員としての基礎的知識等を学びます。その後も、ライフステージに応じた研修でキャリアアップをサポートしています。

## 初任者研修

児童生徒理解

## 2年次研修

多面的・多角的な  
見方の深化

## 3年次研修

授業づくりの充実

## 向上期研修

同僚と関わり合う  
授業研究

## 中堅教諭等 資質向上研修

人材育成を意識した  
授業研究



VOICE

上溝小学校  
教諭  
熊谷 妙子

初任者研修では、教員としての心構えや児童との関わり方、学級経営にまつわることなど、多くのことを学びました。指導教諭にきめ細かいご指導をいただける環境や、常に互いを切磋琢磨し合うことのできる同期の存在は非常に心強かったです。研修を通して、教師になることはゴールではなく、教師として成長するための新たなスタート地点に立ったに過ぎないことを実感しました。今後も学び続ける姿勢をもち続け、魅力ある教師に成長していきたいと思っています。



VOICE

若草中学校  
教諭  
河内 智幸

3年次研修では授業力向上を目標に取り組みました。研修や日頃の研究授業、中堅教諭の先生方による授業を参観するなど、学ぶことの多い1年間でした。特にグループの先生方との意見共有や話し合い活動は新たな発見がたくさんあり、充実した研修となりました。学んだことをこれからの教育に生かし、今後も生徒主体の授業を目指し、すべての生徒が保健体育を好きになる授業を行ってまいります。



VOICE

田名中学校  
教諭  
安藤 千央

中堅教諭となり、様々な手立てを吸収して受け取る立場から、自分の持っているアイデアを伝える立場となったことを強く感じました。本研修では、自分から発信する手段の1つとしてOJTの手法を学びました。生徒・保護者との関係性だけでなく、教員同士の関係性がより良い学校運営につながります。今、私が持っているアイデアの引き出しも、諸先輩方から受けついでものです。今後も新しい意見に耳を傾けながら、アイデアのバトンを後輩につないでいきたいです。

## ■ 拠点校指導教員から一言 ■

教員としての心がまえ、生徒との接し方、授業の進め方などを日常業務の中で指導を行います。新規採用教員1名から4名を受け持ち、そのうち1校を「拠点校」として配置します。



VOICE

淵野辺東小学校  
拠点校指導員  
木村 毅

初任者がそれぞれに抱える課題について、実践を通して学べるように心がけて研修を進めています。初任の先生が自ら問題解決能力や想像力を高めていけるようにしています。そして、教師の仕事の魅力にも気づけるように心がけています。



## 校内研修(210時間)

勤務学校内で行う研修です。授業に関する研修(授業実践、授業参観等)、学校教育全般に関する研修等を行います。初任者研修の担当指導教員を中心に学校の教職員全員で学びをサポートします。



## 校外研修(年間15回)

勤務校外で行う研修です。主に総合学習センターで行います。少人数のグループに担当指導主事がつき、きめ細かな指導のもと、児童生徒理解、授業づくり・学級づくりの基礎を中心に学びます。



## 体験学習研修(日帰り)

市内にある教育施設「相模川自然の村野外体験教室(若あゆ)」で行います。体験活動の価値を実感し、自分と向き合うことや、他者を理解し、共感することの大切さを学びます。



# 先輩教員の声

初任者編

Voice from Experienced Teachers

## 教諭 根岸 真由

九沢小学校(相模原市出身)



### Q. 教員を志した理由を教えてください。

教師になりたいと思ったきっかけは、恩師との出会いがあったからです。その先生は、私たち児童に寄り添ってくれました。気持ちを伝えることが苦手な児童には、「気持ちカード」をつくるなど、一人ひとりにあった支援をしてくださったことが印象に残っています。

### Q. 教員という仕事の魅力や、やりがいを教えてください。

授業中、「わかった!」「もっとやりたい!」と子どものキラキラした笑顔を見たときに、やりがいを感じます。また、周りの先生方に「いいクラスになったね。」「みんな成長してきたね。」と言われた時には、子どもと共に自分も成長できているのかなと思いき嬉しくなります。

### Q. 採用前、不安に思っていたことを教えてください。

「先生」として、上手くやっていけるかどうか不安でした。また、子どもたちに授業・指導等を行いながら、自分が成長していけるかという不安もありました。今でもその不安は解消されたわけではありませんが、先輩の先生方に支えられて日々頑張ることができています。

### Q. 先輩の先生方からのアドバイスや、助けてもらったことを教えてください。

先輩の先生方は、失敗しても必ず助けてくれるので、とても心強く、安心して色々なことに挑戦することができます。また、昨年度担任していた先生から、児童の様子や接し方へのアドバイスをいただくこともあります。

### Q. 休日の過ごし方について教えてください。

日々元気に子どもたちと会えるように休日は心も身体もリフレッシュすることを意識しています。また、多面的に物事を考えられるようにするため、他の職業の友人と会うようにしています。

## 養護教諭 加藤 千晴

相原小学校(福島県出身)



### Q. 養護教諭を志した理由を教えてください。

高校生の時に、東日本大震災で被災し校舎が使えなくなる中で頑張る先生方の姿を見て「先生ってすごいな」と思うようになりました。その中でも、友人や部活の仲間がよくお世話になっていた養護の先生に憧れ、自分もこんなふうに誰かを支えられる人になりたい!と思い、養護教諭を志望しました。

### Q. 相模原市を受験した理由を教えてください。

大学生の時に、相模原市の教員採用試験説明会に偶然参加したことがきっかけで、興味を持ちました。相模原市は、市内の学校の情報共有がしやすいこと、養護教諭同士の関わりが多いことが魅力だと感じています。

### Q. 採用前に不安に思っていたことを教えてください。

新しい学校で、どんな先生や子どもたちがいるんだろう、4月の健康診断は大丈夫だろうか・・・という不安がありました。でも、実際に働いてみるととても温かい環境で安心しました。また、指導担当の先生や、近隣の養護の先生方にも質問しやすく、困ったときにもすぐに声をかけてくださいます。

### Q. 児童・生徒と接する時に工夫していること、大事にしていることを教えてください。

日々の小さな関わりを大切にすることを意識しています。養護教諭は全校の色々な子どもと広く関われる立場にいますので、保健室前に子どもたちがいたら、チャンス!と思って話しかけています。

### Q. 休日の過ごし方について教えてください。

休日は仕事のことをあまり考えず、自分の時間を大事にして過ごしています。関東に住むのは初めてなので、美味しいお店を探ることが最近の楽しみのひとつです。

## 教諭 中田 靖菜

上溝南小学校(相模原市出身)



### Q. 教員を志した理由を教えてください。

小学生のときに、地域の特徴を生かした授業に熱中しました。地域の川を探検し、蛍の幼虫を観察したり、地域の方々と一緒に捕まえた生き物を育てたりする体験を通して地元へ愛着をもつようになりました。私もいつか子どもの心に残るような授業ができればと思い、志望しました。

### Q. 小学校全科(英語コース)を受験した理由を教えてください。

英語以外の教科にも興味があり、また留学経験等自分の経験を活かすことができる英語コースを受験することは、大きなチャンスだと感じたからです。実際、子どもと長い時間一緒にいることで、子どもがキラッと光る姿をよりたくさん見つけることができます。

### Q. 自身の英語力をどのように活かしているか教えてください。

ALTの先生と話したい子どもたちから「こうやって言いたいんだけど英語でどう言えばいいの?」と聞かれたときにサポートしています。また、時間を尋ねる授業では、時差ボケの話や、国際電話をかけるときの苦労を話すなど、自分が海外に住んでいて経験したことなどを話すこともあります。

### Q. 休日の過ごし方について教えてください。

土日のどちらかは外出するようにし、同僚や違う仕事の友達と話すことでリフレッシュしています。自分の時間をなかなか確保できませんが、今年一年は学びの年だと思っています。来年からは自分の時間を作り、自分自身の経験をより豊かにしていきたいです。

### Q. 受験生へのメッセージをお願いします。

教員採用試験は、「自分自身について」、「教育について」、よく考える機会になりました。あのときに自分の考えをつくる時間を大切にしてください。よかったと思います。ぜひそういった機会をつくってみてください。





## 教諭 高橋 春氷

相模丘中学校(東京都出身)



### Q. 教員という仕事の魅力や、やりがいを教えてください。

生徒のいろいろな考えを知ることができることだと思います。また接した生徒の数だけ、成長に触れることができます。そのすべてに関われるのは、教員という職業だからこそだと思います。

### Q. 相模原市の良いところを教えてください。

周りの先生方、生徒、保護者全員が、温かく接してくれます。先生方は、どんなことでも優しく丁寧に教えてください、ときには、自分の仕事を後回しにしてまで手伝ってくれます。このような対応を常にしてもらえる環境のある相模原市を選んで良かったと思います。

### Q. 児童・生徒と接する時に工夫していること、大事にしていることを教えてください。

生徒と接するときには、必ず話を最後まで聞くようにしています。どんなに急いでいるときであっても生徒の顔を見て、途中で話を切らないように気をつけています。生徒の気持ちや考えをしっかりと受け止めることで信頼関係を築くことができと思っています。

### Q. 休日の過ごし方について教えてください。

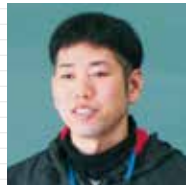
睡眠時間をしっかりと取り、食事もしっかりと取るようにしています。休日をリラックスして過ごすことで日頃の疲れをとるようにしています。

### Q. 教師になったと実感した時について教えてください。

自宅で一日を振り返り「今日の授業の発問はどうだったかな。」「生徒に違う声掛けをした方が良かったかな。」「今日生徒に言われたあの言葉は嬉しかったな。」など振り返っていると、自分が本当に教師になったんだと実感します。

## 教諭 瀧尾 諭

内出中学校(広島県出身)



### Q. 教員という仕事の魅力や、やりがいを教えてください。

現在、特別支援学級の担任をしています。教師の工夫次第で苦手なことに挑戦したり、できなかったことがある日突然できるようになったりするなど、生徒の成長が見て取れる教育の原点だと思います。そこにやりがいを感じています。

### Q. 相模原市を受験した理由を教えてください。

私自身、2児の父親ですが、相模原には大きな公園や自然が沢山あり子育てにも良い環境だと感じています。そんな相模原市で私も働きたいと思い受験しました。

### Q. どのような教師になりたいか教えてください。

教壇に立ち、上から生徒に指導するのではなく、人生の先輩としてアドバイスをしたり生徒と同じ目線に立って学習をサポートしたりできるような教師になりたいです。

### Q. 休日の過ごし方について教えてください。

休日は、自分の子どもと関わる時間を多くとっています。仕事と家庭とのバランスを取りストレスを溜めないように息抜きをしながら過ごしています。また、外出先で偶然、保護者や生徒に会い「瀧尾先生」と声をかけられることもあり、そんな時に自分は教師になったんだと感じます。

### Q. 受験生へのメッセージをお願いします。

私の場合、社会人経験を積んで教師を目指したのですが、自分の経験が教育に絶対に役立つと信じ、「相模原市は私を必要としているはず」と根拠のない自信をもって受験に臨みました。今から受験される方にも自分の強みを自信に変えて受験していただければと思います。

## 教諭 水谷 純

新町中学校(東京都出身)



### Q. 教員に転職した理由を教えてください。

元々、教員を目指していましたが、採用試験の合格は叶いませんでした。大学卒業後、自分の人間性の幅を広げることができると考え、約9年間民間企業に勤務しました。大変やりがいのある職業でしたが、再度自分の人生を考えた時、教員志望の情熱が再燃し、採用試験にチャレンジしました。

### Q. 教員という仕事の魅力や、やりがいを教えてください。

生徒の喜びや悲しみを共有し、共に成長できることです。これは民間企業ではなかなか経験することができないことです。前職では仕事とプライベートを区切っていましたが、現在は生徒のことを四六時中考える自分の変化に驚き、楽しんでいます。

### Q. 教員生活に民間企業での経験が

#### 活かされていると思う点を教えてください。

様々な世代の同僚・上司達と働き、顧客と関係を作るうえで大切だと感じたことを生徒に伝えることができる点です。保護者の方と会話する際も、民間企業と学校現場との違いを説明することができるので、大変役に立っています。

### Q. 休日の過ごし方について教えてください。

土日のどちらかはソフトテニス部の指導を行っています。テニスコーチのアルバイトをしていた経験を活かし、なるべく部員と一緒にボールを打ちながら指導をしています。また、週1回は趣味であるキックボクシングのジムで汗を流すようにしています。

### Q. 教員へ転職を考えている方へのメッセージをお願いします。

教育現場の労働環境は厳しいと報道されがちですが、生徒と過ごす喜びは何物にも代えられません。他業種で培った経験に助けられる生徒や保護者の方々は必ずいますので、頑張ってください。



# 先輩教員の声

Voice from Experienced Teachers



## 校長



青野原中学校  
校長(青野原小学校校長兼務)  
小畑 弘文

### Q. 校長としての仕事の内容を教えてください。

子どもたちや地域の実態に即した学校経営方針を立て、教職員、家庭・地域に根ざす学校像、子ども像などを示してビジョンを共有し、協働する体制を整えることが、まず校長としての大切な役割だと思います。学校では、様々な教育活動が行われていますが、それらが、真に子どもたちのためになっているのか、安全対策は十分かなど、常に見極めていくこと、また、的確な判断を下すことが日々の仕事だと思います。

### Q. 校長として、職場環境を形成していくなかで、

心がけていること(大事にしていること)を教えてください。

管理職だからと傲慢になっていないか、平等に教職員と接しているかなど、自分の言動、態度が、周囲に悪い影響を与えていないか、振り返るようにしています。常に笑いがあり、和やかな職場環境であるように、教職員と冗談を言い合うなどしているつもりです。ただ、管理職として、様々な判断をしなければならないことがあります。曖昧な態度ではなく、責任を持って毅然と結論を述べるようにしています。

### Q. 受験生へのメッセージをお願いします。

教員の働き方について、話題となっていて不安に思うこともあるかもしれませんが、教員ほど、毎日が変化に溢れ、わくわくする職業はないと思っています。子どもの人生に大きな影響を与えてしまう、責任ある職業ですが、それだけにやりがいがあります。相模原市は、将来の可能性を秘めたところ。本市で、子どもたちの未来をともに切り拓く仲間として、全力を尽くしていきましょう！

## 総括教諭

### Q. 教務主任としての仕事の内容を教えてください。

先生方が、計画的に安心して仕事が行えるように、教育計画を立案したり、スケジュールを調整したり、職員間の連携を図ったりして、職場のよりよい環境づくりに努めています。また、学校と保護者(PTA)とのパイプ役として、連絡・調整も行っています。

### Q. 休日の過ごし方や、ワークライフバランスについて

意識・実践されていることを教えてください。

我が家は、子ども4人の6人家族なので、「仕事を家庭に持ち込まない」ことを心がけ、休日はできる限り子どもたちと一緒に過ごしてきました。子どもが大きくなった今は、教員仲間とマラソン大会に出たり、親睦会を行ったりして、充実した休日を過ごしています。

### Q. 受験生へのメッセージをお願いします。

地元の九州から相模原に来て20年が経ち、相模原市は人生で最も長い期間住んでいる街となりました。都会にも近く、自然にも触れられる環境で、子育てをしながら仕事ができるこの街で、一緒に働きましょう。



弥栄小学校  
有働 光

## 教員、児童・生徒を

### 【教員を

部活動指導員、

スクールサポートスタッ

### 【児童・生

支援教育支援員、支援

学習支援スタッフ、

### 【児童・生徒

青少年教育カ

スクールソーシ

## みんなで教員、児童・ 成長を助けてくれる管

## 総括教諭



中野中学校  
玉津 直子

### Q. 教務主任として、心がけていること(大事にしていること)を教えてください。

担当している先生方の思いを大切に、実現できるように日程調整とアドバイスをしています。授業・生徒会活動・学校行事等々いろいろな場面で子どもたちを育てていくので、それらの両立も心がけています。

### Q. 休日の過ごし方や、ワークライフバランスについて

意識・実践されていることを教えてください。

休日は家族と過ごす時間を大切にしています。子どもの学校の行事などに参加したり、ママ友と交流したりするのは貴重な時間です。それと健康第一！心も体もゆっくり休み、エネルギーを充電しています。

### Q. 受験生へのメッセージをお願いします。

人を育てる仕事には感動があります。ときにはうれし涙を流せる仕事です。心が震える瞬間があります。たくさんの可能性を秘めた子どもたちと未来をつくっていきましょう。



## 副校長

**Q. 副校長としての仕事の内容を教えてください。**

児童が安全で安心して学べる環境づくりを行っています。また、教職員、保護者・地域、関係機関等のパイプ役として、校内外が協働して児童の教育に取り組めるようネットワークづくりも大切な仕事です。

**Q. 副校長として職員室にて、心がけていること(大事にしていること)を教えてください。**

毎日、元気に子どもと向きあうには、教職員の心と身体の健康が大切です。そのためにも、積極的にコミュニケーションを図ることで、信頼関係のある風通しのよい職員室になるよう心がけています。

**Q. 教員生活の中で、印象に残っている出来事・エピソードを教えてください。**

初任1年目で担任した児童のことは、今でも印象深く覚えています。無我夢中で1年間を過ごしましたが、児童の成長を感じた時が何より嬉しかったです。悩むこともありましたが、周りの先生方や同期の教員の支えに感謝しています。

**Q. 休日の過ごし方や、ワークライフバランスについて****意識・実践されていることを教えてください。**

休日は、家事とリフレッシュできる趣味をして過ごしています。リラックスして体を休める事や仕事以外のことに夢中になることも、仕事をする上で大切な時間だと思います。



もえぎ台小学校  
副校長 鎌田 裕子

## 支援するスタッフ

## 支援】

図書整理員、  
フ、観察実験アシスタント

## 徒を支援】

教育指導員、学習支援員、  
学校支援ボランティア

## の心のケア】

ウンセラー、  
チャルワーカー



星が丘小学校  
近森 謙介

生徒を支えています。  
理職、先輩の教職員！

## 指導教諭

**Q. 指導教諭としての仕事の内容を教えてください。**

自分が所属する学校で授業を実践すること、所属校や市内他校で先生方の授業を参観して協議をさせて頂くこと、そして所属校や他校で自分自身が行う授業を先生方に参観して頂き、協議することなどです。

**Q. 指導教諭として、他の教員との関わりの中で意識していることを教えてください。**

「自分自身も授業を実践する一人の教員」という自覚をもつよう心がけています。授業づくりについて様々な教諭の方と協議する機会があります。その際には、「自分が授業をするとしたら、授業をどう組み立てるか。」と考え、協議を通して自分自身も学ばせて頂く、という姿勢を心がけています。

**Q. 受験生へのメッセージをお願いします。**

授業は教師一人で行うものではありません。主役は子どもです。一人一人の子どもがもっている「もっと学びたい」「より成長したい」という思いを引き出して、しっかり受け止める。そして、自分自身も子どもの姿から学ぼうとする。その姿勢をもち続けられる教師を目指して切磋琢磨しましょう。



大野台中学校  
相羽 智広

## 学校事務職員

**Q. 学校事務職員としての仕事の内容を教えてください。**

学校における唯一の行政職員として、先生方の給与や福利厚生事務、物品注文・管理等、多岐に渡る業務に向かっています。「学校」の職員として先生方を支え、「子ども」のためにできることを意識して日々取り組んでおります。

**Q. 教員との関わりにおいて心がけていることを教えてください。**

先生方がより多くの時間を子どもとふれ合えるよう、事務処理の時間を減らす等、自分にできる最大限の努力をしております。また、「チーム学校」の一員として学校をより良くする工夫・方法を常に考えて仕事をしています。

**Q. 受験生へのメッセージをお願いします。**

教師という職業は、子どもの人生に大きな影響を与える仕事であり、たいへん尊い仕事だと思います。常に「子どものため」を意識してたくさんの時間を子どもと接するような先生になってほしいと思います。



# 働きやすいまち 相模原

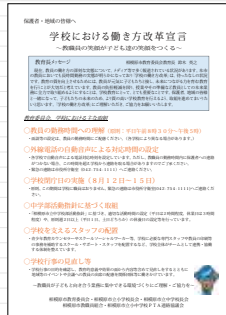
Sagamihara which tends to function

## 学校の働き方改革を進めています！～教職員の笑顔が子ども達の笑顔をつくる～

「児童・生徒に全力で向き合える」、「自分の時間も確保できる」そんな職場環境の形成を目指し、「学校現場における業務改善に向けた取組方針」を令和元年10月に改訂し、「働き方改革」の更なる推進を図っています。

### 教育委員会 学校における主な取組

- \* 外線電話の自動音声による対応時間の設定
- \* 学校閉庁日の実施
- \* 中学校部活動指針に基づく取組
- \* 学校を支えるスタッフの配置
- \* 長期休業中の学校閉庁日の設定
- \* 学校行事の見直し等



保護者・地域の方に向けて学校における働き方改革宣言を発行！

### 各学校で こんな工夫をしています！



スペースを要する作業やちょっとしたミーティングが行えるスペースの設置



動線を考慮した職員室レイアウト

### スクールサポートスタッフとして 働いています！

#### 南大野小学校 スクールサポートスタッフ 林 玲子

#### Q スクールサポートスタッフとしての 仕事の内容を教えてください。

主に職員室で、プリントの印刷やデータ入力などの事務作業、清掃や花壇の手入れなどの職場環境の整備、電話応対や接客などの仕事を担っています。

#### Q 教員との関わりにおいて 心がけていることを教えてください。

先生方が、子どもたちと向き合い、教材研究などに十分時間を使えるようにと願って仕事を進めています。そのために積極的に先生方とコミュニケーションをとり、意向に沿った対応ができるようにと心がけています。

#### Q 職員室等での、学校の教員の雰囲気について教えてください。

先生方が職員室にいる時には、いつも子どもたちの話題が飛び交っており、行事や学習についての打ち合わせなども頻繁にあり、室内は活気にあふれています。休み時間には、子どもたちと一緒に校庭で遊ぶ先生方も多くいます。



### 現場の先生方の声

(こんな取組をしている学校もあります。)

VOICE

教職員間で学校行事の目的を確認し、内容や準備等を含めて見直しを行っています。また、PTAの会議では、保護者に理解や協力を促し、お互いの負担を減らせるよう活動の見直しや効率化に向けて話し合いを行っています。

VOICE

教職員間で情報交換を行うことで、多忙感の原因となっている課題を見つけられるように努めています。また、長期休暇中にできるだけ長い期間休みを取得できるよう、会議や研修を短期間にまとめて行う等、スケジュールを調整しています。

VOICE

第2・第4水曜日を「ノー残業デー」としています。通知表の所見の記入を1年に1回にしたり、会議を減らしたりしています。

### 部活動の負担も軽減します！

相模原市では、平成30年2月「相模原市立中学校部活動指針」を策定し、部活動が適切かつ効果的な活動な取組になるよう、また教員の負担が軽減されるよう、各学校で指導内容や方法について検討や見直しを図っています。

#### 【相模原市立中学校部活動指針の主な内容】

- \* 平日は少なくとも1日、土曜日及び日曜日は少なくとも1日以上休養日設ける。
- \* 1日の活動時間について、平日で2時間程度、学校の休業日は3時間程度とする。
- \* 外部指導者の活用 \* 複数顧問体制の確保





## 仕事と子育て両立しています！

夢の丘小学校  
教諭 梶原 圭子



### Q 教員の仕事の魅力や、やりがいを教えてください。

子どもたちの「初めてできた！」「分かった！」という瞬間を、子どもたちと一緒に喜ぶことが一番の魅力だと感じています。その瞬間に立ち会えるよう、授業を考えたり教材を準備したりすることがとても楽しいです。スキルアップできるように努力を続け、子どもたちとともに成長したいと思います。

### Q 仕事と子育ての両立をどのように工夫しているか教えてください。

オンオフを切り替えるようにしています。職場では、目の前の子どもたちと全力で向き合い、より楽しく、学びのある授業ができるよう、努力をしています。帰宅後は我が子と一緒に風呂に入ったり、食事をしたりと家族と向き合う時間を作っています。メリハリをつけることで仕事も子育ても生き生きと充実しています。

### Q 仕事において、産休・育休を経験してから変わったことを教えてください。

自分も保護者になったので、保護者の気持ちが少しずつ分かるようになってきていると思います。保護者の立場ではどうだろう、と考えることが増えました。子ども一人ひとりの成長に気づくことが多くなり、子どもたちの小さな小さなステップアップにも幸せを感じます。

### Q 産休・育休を取得するにあたりどのようなサポートがあったか教えてください。

出産前は体に負担のかからないようたくさんのサポートをしていただき、無事に出産を迎えることができました。育休からの復職後は、保育園のお迎え時間に間に合うようにサポートしてくれます。子育てしながらも働きやすくあたたかい環境に感謝しています。

### Q 仕事と子育ての両立をどのように工夫しているか教えてください。

両立は、出来ていません(笑)。我が家は、近くにお互いの両親や親戚もいないので、子ども3人とも1歳までは育児休暇を取りました。復帰してからは保育園、民間の学童と10年以上お世話になっています。相模原市のファミリーサポートにも登録しました。ご近所の方とも、一緒に出かけたり行事を楽しんだり、いろいろな目で手であっていただいています。工夫があったとすれば、「自分だけでやろうとしない」と考え、人に頼ることに罪悪感を感じないようにしています。その代わりに、自分も出来ることがあればと思っています。

### Q 仕事において、産休・育休を経験してから変わったことを教えてください。

3人の子どもの子育てをして感じるの、中学校生活3年間は短いということです。子どもたちがその短い3年間で身につける生活習慣や学習習慣、の中で育まれる価値観などは、どれも今後の人生を左右するものであり、軽視できるものではありません。子どもたちは、きっと今後も葛藤し、悩みながら成長し続けるんだろうと考えるようになりました。また、子どもとは「いるだけで価値ある存在」と心から信じるようになりました。

### Q 部分休業を取得するにあたりどのようなサポートがあったか教えてください。

復帰直後には、保育園の慣らし保育に合わせて授業時間を少しずつ増やしていただきました。また、その後も子どもの行事に合わせて授業を変更していただいたり、子どもが病気で休んだ際のフォローをしていただいたりと、とても感謝しています。最近では、小さいお子さんのいる男性の先生方も増え、お互い協力していく雰囲気があります。

相陽中学校  
教諭 竹田 悦子



## 福利厚生も充実！

### ■ 教職員互助会 ■

教職員が安心して楽しく働けるよう、様々なレクリエーション事業等を行い、教職員同士の親睦や余暇の充実、健康の維持増進を推進しています。

\* 学校対抗のボウリング大会の開催 \* 映画券や観劇等のチケットを団体割引価格で斡旋  
\* 旅行費用やインフルエンザ予防接種料・人間ドック受診料の助成等

### ■ 同好会 ■

同じ趣味や志をもつ教職員同士で同好会活動を行っています。

\* 野球、サッカー、剣道、テニス、国際教育研究等





# 魅力あるまち、相模原

Attractive town, Sagamihara

## 人口・世帯数データ

	相模原市	緑区	中央区	南区
人口	722,254	170,226	272,034	279,994
世帯数	327,805	74,073	123,161	130,571

令和2年3月1日 現在

## 相模原市立学校データ

	小学校	中学校	合計
学校数(校)	71	37	108
学級数(級)	1,293	551	1,844
児童生徒数(人)	35,259	16,601	51,860
教職員数(人)	1,946	1,133	3,079

令和元年1月1日 現在

令和2年4月1日より、本市初の義務教育学校「青和学園」が開校します！



## 未来を拓くさがみはら新都心

本市では、橋本・相模原両駅周辺を一体的な「広域交流拠点」と位置付け、50年、100年先を見据えたまちづくりに取り組んでいます。また、国が平成28年3月に決定した「首都圏広域地方計画」に位置付けられた、リニア中央新幹線によるスーパー・メガリージョンの形成プロジェクトの一翼を担うため、国土づくりの方向性に沿った展開が期待されています。



（ 相模湖 ）



（ 橋本七夕まつり ）



2020年東京オリンピック競技大会自転車ロードレース競技のコースに、相模原市が選ばれました。世界のロードレーサーが「相模原市」を駆け抜けます。



（ 相模の大凧まつり ）



## 未来を担う最先端技術

小惑星探査機「はやぶさ2」等を  
生み出した宇宙科学研究の拠点です。

## JAXA 相模原キャンパス

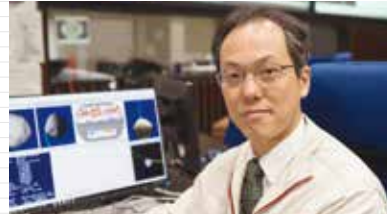
小惑星探査機「はやぶさ2」などの運用を行っている日本の宇宙科学の中心となる研究所。平成30年2月には宇宙科学探査交流棟がオープンし、展示室内では「はやぶさ2」の実物大模型や「はやぶさ」帰還カプセルの実物、屋外にはロケットの実物大模型などが展示されています。



pick up

相模原に所縁のある

はやぶさ2プロジェクトマネージャよりメッセージ!



宇宙科学研究所  
宇宙飛行工学研究系 教授  
はやぶさ2  
プロジェクトマネージャ  
津田 雄一博士(工学)

相模原市は、日本の宇宙科学を担うJAXA宇宙科学研究所の所在地でもあります。2018年に人類未踏の小惑星「リュウグウ」に到着し、驚くほどの正確さで星のかけらを採取するなど数々の成果を挙げた小惑星探査機「はやぶさ2」も、この相模原の地で生まれました。最先端科学の集積地、そしてそれを取り巻く文化施設というのも、相模原のもう一つの顔です。

私自身、物心つく前からこの地で育ち、この地の小中学校を経て、宇宙工学を志しました。小学生のころ、テレビ中継されていた米国NASAのスペースシャトルのミッションで、「ヒューストンからサガミハラへ」と管制官が交信していたことが今でも印象に残っていて、子どもながらに相模原市に住んでいることを誇らしく感じたのを覚えています。

宇宙科学研究所は、国際的な研究者が集結する一線の研究施設であるとともに、科学の最前線を発信する文化施設でもあります。毎年、多くの子どもたちや大人たちが訪れ、宇宙開発の実物に触れ、教育やビジネス、好奇心や向学精神を磨くのに役立てていただいています。キャンパス内で目を輝かせて見学する子どもたちとそれを導く熱心な先生方の光景を見ると、大げさかもしれませんが、人間の未来は明るい!といつも感じます。そのような現場がある相模原市が、これからも若者の豊かな心を育み続けることを、一市民として願っています。

## ホームタウンチーム

本市に活動の拠点を置き、全国での活躍が期待できるスポーツ団体を「相模原市ホームタウンチーム」として認定し、シティセールスやスポーツ振興によるまちづくりを進めていきます。ホームタウンチームが本市を代表するシンボルとなるよう、様々な連携、支援活動を展開し、「豊かなスポーツライフの実現」と「スポーツを生かした地域のにぎわいの創出」を目指します。



SC相模原(サッカー)



ノジマステラ神奈川相模原(女子サッカー)



三菱重工相模原ダイナポアーズ(ラグビー)



ノジマ相模原ライズ(アメフト)



令和2年度実施

# 相模原市立学校教員募集



志願者説明会を実施します。

第1回	日時	4月18日(土) 19時～20時30分	会場	社のホールはしもと
第2回	日時	4月23日(木) 19時～20時30分	会場	相模女子大学グリーンホール
申込方法	電子申請からの申込となります。			

電子申請  
申し込みはこちら



お問い合わせ

相模原市教育委員会 教職員人事課(相模原市役所第2別館4F)

相模原市の学校で働く

検索



相模原市教員採用情報

検索



Facebookで  
「いいね!」してね



相模原市も  
推進して  
います!

**SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS**

SDGs(エス・ディー・ジーズ)とは、2015年に国連サミットで採択された、2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール、169のターゲットから構成されており、「誰一人取り残さない」ことを誓っています。